



今月号は末広小学校との交流学习及び共同学習の紹介をします！

F 末広は、末広小学校と同じ敷地にあります。そんな立地を活かして、末広小学校との交流が盛んに行われています。児童の交流は色々な方法で行われており具体的には、①一緒に授業②委員会活動への参加③ともすすルームの利用などがあります。ここでは、①②③それぞれの活動を紹介します。



- ① 交流授業は、各学年で色々な教科で行っています。大勢の友達の前で自己紹介をするときには緊張したり、末広小の友達と手をつなぐのを少し恥ずかしそうにしている様子も見られましたが、交流を重ねる度に名前を覚えてくれる友達が増えたり、笑顔で参加する児童も増えてきました。交流する中で、お互いに良い影響を与えていると思ったシーンがあります。小6の体育で跳び箱の授業がありました。末広小の皆さんは、自分の力に合わせて色々な高さの跳び箱を選んで練習をしています。F 末広の児童は、同じ空間で違う跳び箱で練習をしていました。途中で、末広小の児童と同じ跳び箱に並んで跳んだらどうだろう？と挑戦してみました。勢いをつけて助走をし、上手に跳ぶ末広小の児童の姿を間近で見たことによって、F 末広の児童に跳び箱に向かう姿勢に変化が見られました。F 末広の児童に見られていると感じた末広小の児童も、より高くきれいに跳べるように張り切って跳ぶ姿や、列に並ぶ際の気遣いを見せていました。

- ② 6年生は、末広小の委員会活動の一つである、牛乳パックの回収に参加しています。給食の牛乳パックを食後に洗って干し、乾いたものをまとめたら、木曜の昼休みに末広小に届けに行っています。中学部の生徒たちも同様に、乾いたら回収ボックスに入れる活動を係の仕事として行っています。



- ③ 今年から、末広小の3階に「ともすすルーム」が誕生しました。そこには、サイバーホイール、ペダルローラーなどの遊具が置いてあり、体を動かして遊ぶことができます。隣には、末広小のクラスがあるので、自然と顔を合わせる機会が増え、言葉をかけてくれる友達もたくさんできました。交流をよりよく行えるように、教員達も情報交換会や授業の打ち合わせ等を行っています。

12/23 には、両校の教員で研修会を行いました。末広小の体育館に集まり、交流を通じた児童の様子、変化などの情報を共有しました。低学年の児童



たちには、無邪気に関わり合う姿が見られました。高学年になると、どうやって関わったらよいのか迷っている様子や、言葉をかけたいけれど勇気が出ないといった様子などについて報告がありました。成長の過程で色々な姿が報告されましたが、研修会の最後には、交流の活動が特別なイベントではなく、「いつも自然にそこにいる仲間」であり、その仲間と共に進んでいく活動をこれからも地道に積み重ねていくことを互いの教員で確認し合いました。3学期も互いに実りのある交流活動を計画していきます。

